



菊地 隆司

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

臨床生理検査部

1999年にLancet誌に掲載されたHeart Rate Turbulenceはホルター心電図を用いた非侵襲的な心筋梗塞後のリスク指標として紹介されました。

心臓突然死のリスク層別化において多くの自律神経指標が提唱されている中で、この指標は圧反射に起因するところに独特の特徴を持ちます。

近年、心疾患のみだけでなく自律神経障害をきたす様々な病態で議論されており、その一つとして睡眠呼吸障害に関する我々の結果を報告します。